

日帰りバス旅行 日の出町ごみ処分場

10月16日(月)に会員就業・交流事業検討会主催(理事会共催)の「日帰り旅行」が開催されました。今年の日帰り旅行は、府中市から出たごみが最終的にどのような処分されているかを知るユニークなバスツアーです。府中市が市民への啓蒙活動の一環として、バスを提供し、ごみの最終処分場である、日の出町まで送り迎えのサービスです。募集定員は45名と少ないため、募集開始まもなく「定員」になった企画です。

大國魂神社交番北側から9時出発。10時20分頃、日の出町にある「東京多摩広域資源循環組合二ツ塚処分場」に到着。この組合は、府中市を始め八王子、立川、調布、多摩市など多摩地域の25市1町で構成された事業組合で、400万人の一般廃棄物の最終処分が目的です。

広報担当の小岸直樹主事が、案内をしてくださいました。府中市などから出た「燃やすごみ」は各自治体で燃やした結果、燃えカスとしての「灰」が残り、それを処

分しなければなりません。当初は、その灰をここに持ち込み、埋めていました。しかし限界になり、新しい方法として「エコセメント事業」が平成18年7月から本格稼働しました。これにより、燃えカスの灰は、100%セメントの材料として使用されることになり、現在は灰の埋め立てはなくなつたそうです。1350℃以上の高温でエコセメントを製造しています。全国で稼働中のエコセメント生産施設は、現在ここだけのことです。

施設見学後は、あきる野市にある「黒茶屋」で懐石料理の昼食です。おいしいものをたくさん食べたのち、道の駅(八王子・滝山)で買物。予定通り午後4時頃府中に着き、解散しました。



会員さんからの投稿



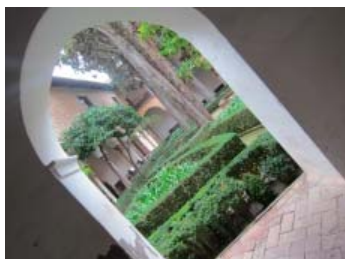
「収穫の秋！八ヶ岳に若人集う！」
池岡道範さん：写真



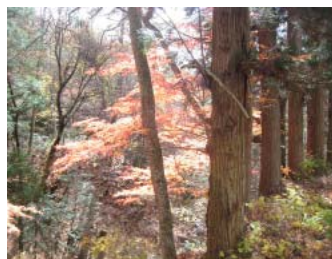
「霊松寺山門」
田嶋 淳さん：写真



「渓谷の秋」
田丸博己さん：写真



「アルハンブラ宮殿の庭園、スペイン」
岡本悦郎さん：写真



「霊松寺の秋」
鏡 陽次さん：写真



「山寺の秋」
畑垣雄二さん：写真

●毎号会員の皆様からの投稿をお待ちしております。下記Eメールアドレスまたは事務局まで奮ってご応募ください。
fsc@fsc.or.jp